

基礎データ (令和2年10月1日現在) 出典: 2020年度国勢調査 人口・世帯関係データ

○地図



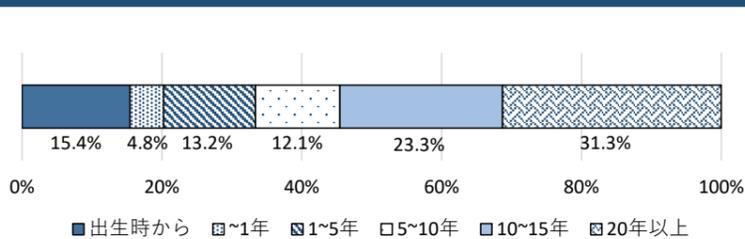
○人口データ

人口	8,689 人 (2.1%)	【 市 417,496 人 】
男性	4,190 人 (2.1%)	【 市 202,029 人 】
女性	4,499 人 (2.1%)	【 市 215,467 人 】
平均年齢	45.3 歳	【 市 47.5 歳 】
高齢化率	24.3 %	【 市 27.6 % 】
後期高齢化率	11.6 %	【 市 13.9 % 】
外国人数	36 人 (1.0%)	【 市 3,577 人 】

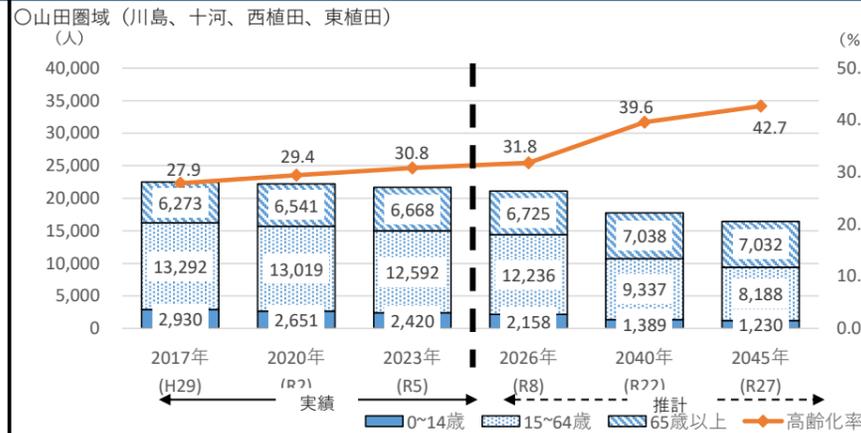
○世帯データ

総世帯数	3,484 世帯 (1.9%)	【 市 187,144 世帯 】
核家族世帯数	2,206 世帯 (2.1%)	【 市 103,254 世帯 】
(核家族世帯率)	63.3 %	【 市 55.2 % 】
18歳未満同居数	900 世帯 (2.4%)	【 市 37,246 世帯 】
(18歳未満同居率)	25.8 %	【 市 19.9 % 】
65歳以上世帯員を含む世帯数	1,253 世帯 (1.7%)	【 市 72,524 世帯 】
(65歳以上同居率)	36.0 %	【 市 38.8 % 】
高齢者のみの世帯数	684 世帯 (1.5%)	【 市 44,722 世帯 】
(高齢者のみの世帯率)	19.6 %	【 市 23.9 % 】
高齢者独居世帯	276 世帯 (1.2%)	【 市 22,457 世帯 】
(高齢者独居世帯率)	7.9 %	【 市 12.0 % 】
3世代同居	165 世帯 (2.8%)	【 市 5,850 世帯 】
(3世代同居率)	4.7 %	【 市 3.1 % 】

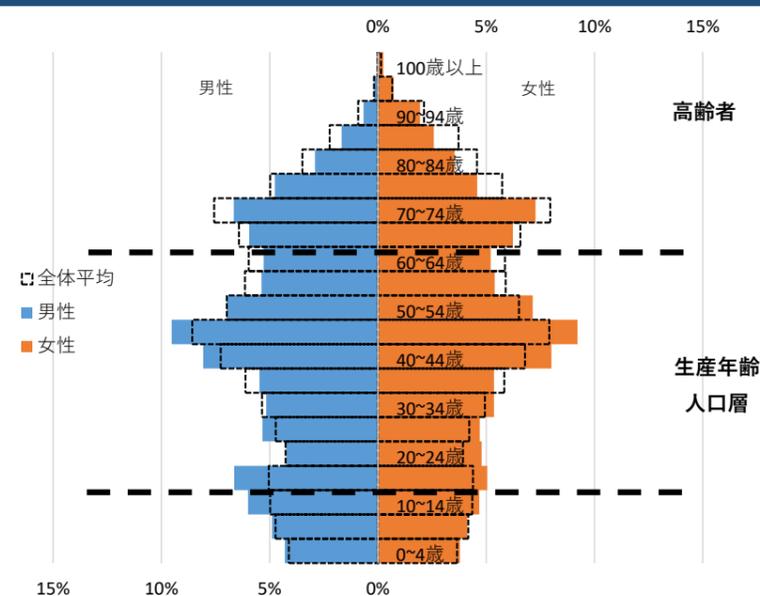
○居住年数別人口構成比



○人口推計グラフ (実績: 住民基本台帳各年10月1日 推計: 高齢者保健福祉計画)



○年齢層別人口分布割合ピラミッド



○18歳未満同居率/高齢化率散布図



○地域資源データ

医療機関 (令和8年1月)

4	医療情報ネット (ナビイ) より
---	------------------

歯科医院 (令和8年1月)

0	医療情報ネット (ナビイ) より
---	------------------

介護サービス (令和8年1月)

居宅介護支援事業所	7	訪問型サービス	9
通所型サービス	6	地域密着型サービス	3
施設系サービス	1	サービスB	0

買い物施設等 (令和8年1月)

コンビニ	スーパー・商店	ドラッグストア	郵便局・金融機関
4	3	1	2

高齢者の居場所 (令和8年1月)

4	おいでまいサロン 社自治会	西宝地堅老賢生の会 ウエストヒルズ・クラブ
---	------------------	--------------------------

老人クラブの活動・コミセン活動・認知症カフェの活動等 (令和8年1月)

老人クラブ: 週3回 (月・水・金8時~) コミセン近くの「ふれあい公園」にて、ベタンクやグランドゴルフ等の活動を行っている。毎回10名程度の参加あり。年2回、十河小学校の「びかびか清掃」に参加したり、小学校の裁縫の授業にも見守りや指導員として参加をするなど小学校とのつながりも持っている。

居場所・サロン: 高齢者の居場所は地区内の集会所等を利用して5か所開催されている。R7度から、地区社協主催の「十河ふれあい・いきいきサロン」が、カナン十河子ども園やコミセンを会場とし、年度内9回開催中。

認知症カフェ: 「武鶴庵 (R6.10~)」近隣住民を中心に毎回多くの参加者が集まっている。

老人介護支援センターの活動 (令和8年1月)

特別養護老人ホーム、通所介護、訪問介護を併設したすみれ荘。年2回の相談協力員会の開催、年4回の高齢者支援推進事業、年1回出前講座を開催。これまでの功績により、R6年、天皇陛下より御下賜金を下賜された。十河地区独自の高齢者買い物支援事業に車輛や運転手を提供したり、川島コミュニティセンターにて開催される認知症カフェ「山田にじいるカフェ」に従事する等、地域貢献活動を行っている。

○地域特徴分析

地域特性

- ・高松市南東部に位置する。主要県道の開通もあり、平成に入って人口が倍増した高松市のベッドタウンである。市全体と比較して高齢化率が低く、若い世代が多い。田園風景が残り、十河城をはじめ歴史的な名跡が多い。主要道路沿いにはスーパーや飲食店等が並び、医療機関も充実しており、住みやすい地区と言える。しかし、南北に長く、傾斜もあるため、主要道路から離れると、自家用車以外の移動が難しくなる。人口の流入が多く、自治会の加入率が上がりにくい課題もある。
- ・山田地区乗合タクシー (どんぐり号) が南北を縦断している。本数は少ないものの、車を持たない世帯の移動手段の一つになっているが、昇降に段差がある等の課題もある。
- ・「子どもにとって安全で安心な地域作り」を目指しており、子どもから大人までが一体となって楽しめるイベント等が多い。コミセンでの交流事業等を通して幅広い世代が接する機会がある。また、地区内の講師を活用し健康講座を開催するなど、健康意識、介護予防への意識も高い。
- ・地域福祉ネットワーク会議は隔月開催しており、他地区の活動や認知症カフェの見学に行ったり、認知症サポーターステップアップ講座をコミセンで開催するなど、認知症関連の活動が活発である。R6年度には、「認知症高齢者 声かけ模擬訓練」を地区内で初めて開催し、R7年度は十河小学校6年生も訓練に参加予定である。

主な地区活動

高齢者買い物支援事業 (買い物タクシー): ネットワーク会議から生まれた。月4回の運行で、申し込みの取りまとめや当日の運営は民生委員が中心に行っている。利用者8名+添乗員1名がタクシー1台に乗り合わせてフジグランへ買い物へ行く。現地での支援員として1~3名程度の動員もあり。R7~すみれ荘の車輛・運転手の提供 (月1回) が再開されている。

和みカフェ: 十河コミセンの1階カフェスペースを活用し、自由に利用できる和みカフェがある。コミセン受付で50円/杯でコーヒー等の飲料を購入可能。(コップ付き/お湯はセルフ)

GO!GO!そごう夏まつり みんなでドミノ 十河戦国お城まつり お月見会
十河ハロウィンパーティー&十河マルシェ ウォーキング 「15日は十河の日」 あいさつ運動

